

平成 26 年度第 5 回緑区地域福祉計画推進協議会議事要旨

【開 催】

開催日時 平成 27 年 2 月 14 日（土）14：00～16：00

開催場所 緑保健福祉センター2階 大会議室

出席者 委員 21 名中 17 名出席、ガイドヘルパー1名
事務局 7 名（緑保健福祉センター長、高齢障害支援課 3 人、社協緑区事務所 3 名）、保健福祉局地域福祉課 2 名

【次 第】

1 開会

2 議題

協議事項

(1) 第 3 期緑区地域福祉計画の推進について

報告事項

(2) 平成 26 年度緑区地域福祉計画事業活動の達成状況について

(3) 緑区地域福祉計画推進協議会 小委員会について

(4) 「みどりのきずな」第 25 号の承認について

3 その他

4 閉会

【議事及び質疑要旨】

議題（1）第 3 期緑区地域福祉計画の推進について

各地区に委員が分かれ第3期重点項目について協議。協議結果は以下の通り。

おゆみ野地区：ふれあい散歩を重点にしている。おゆみ野は遊歩道が充実している。

昨年度からスタートし、主に高齢者を招いている。3月6日に今年度第3回目を実施する。当日は看護師も来てもらい安全に実行するように努力している。毎回30名参加している。ボランティアも同数集めている。来年度はさらに拡充していきたい。散歩参加にどう促していくかが課題になっている。いきいきサロンにまず参加してもらうことも必要になってくる。広報には地区連協に協力してもらう必要もあるかもしれない。

椎名地区：平成27年度には子ども達に高齢者や障がい者の体の特徴や機能の違いを勉強してもらいたいと思っている。高齢者のお元気確認も重点にしている。古市場団地では高齢者へのお元気確認が定着化してきたが、ボランティアがマンネリ化しないように講習会を数回実施する予定でいる。高齢者のアンケートをさらに実施し変化を把握する。ボランティアの再募集も行うことも考えている。

- 誉田地区 : 誉田地区は見守り活動を町内会としては4地区で実施している。すべての地区でやり方は違っている。鎌取町内会のアンケートを参考にして誉田地区全域でやってみようと思っている。また地区部会の配食や防犯パトロールも利用していこうと思っている。
- 土気地区 : 土気地区では見守り活動を重点にしている。社協地区部会が核になり今まで2回会合をしている。民児協・自治会も参加している。向こう三軒両隣の再編を考えている。まずは挨拶活動を充実するように努めていく。近所づきあいが結果として見守りになる。地域での見守り活動を進める上では対象者の個人情報に注意しなければいけない。また共助としての見守り活動としてゴミだし班や手渡しでの回覧板を使って見守り活動を広めていきたい。ゴミ出しが困難な高齢者には市の助成金もあるので地域で取り組むことも考えられる。防犯パトロールを使っての見守り活動も推進できる。子どもへの見守りについては学校やPTAを巻き込んで進めていきたい。
- (廣田委員) 見守りを重点にしている地区が多い。高齢者だけではなく障がい者も見守り活動の対象者として考えてもらいたい。自分で障がいをもっていると思っていなくとも、障がいがある高齢者も出てきている。高齢者は体の機能や心の状態が衰えてきていることをボランティアも認識していかなければいけない。
- (鴨 委員) 障がい者を見守り対象に考えてもらいたい。障がい者も高齢化している。親がいなく、一人で暮らしている人もいる。健常者以上の苦労があると思う。
- (松戸副委員長) 見守りを重点にしている地区は両委員の意見を参考にしてほしい。

議題(2) 平成26年度緑区地域福祉計画事業活動の達成状況について

松戸副委員長の進行により各委員から活動報告があった。

主な発言内容は以下のとおり。

- (田宮副委員長) 減災セミナーを実施した。コミュニティセンター2階にて地域情報を発信する予定でいる。また緑の会議で作成した「おゆみ野マップ」を10箇所の公園に案内板として設置した。
- (中村委員) おゆみ野地区部会の報告をする。ボランティア委員会で散歩の拡充と充実を重点項目として掲げている。3月6日に今年度3回目を予定している。障がい者委員会では、お楽しみ会とおしゃべり会を充実させた。今年で6年目になるが、夏と冬にお楽しみ会を実施した。おしゃべり会は今年3回目を2月に実施する予定。達成率は90%である。
- (本田委員) 子ども達と高齢者のふれあい交流の達成率は6月に実施できなかったので75%とした。古市場団地の見守り活動では、今度見守り高齢者とボランティアのアンケートを計画している。12月23日に餅つき大会を実施した。また福祉コミ懇祭りを2月8日に行った。

- (根本委員) 独居高齢者に歳末慰問金を 20 人に配布した。コミ懇祭りバザーの売り上げが財源になっている。杖を使っている高齢者には杖のホルダーを 52 名に配布した。52 名は各家庭を訪問し、杖ホルダーを使うかどうかニーズを確認して配布した。
- (中村和委員) 交通対策で目標を 2 つ掲げていた。マニュアルの作成と事業黒字化である。黒字化は 10 月の値上げとガソリンの価格低下で目途が立った。マニュアル化は着手が遅かったので資料集めで止まってしまった。これについては来年度以降に継続したい。
- (野崎委員) 土気地区連協の報告をする。防災マップを作ることにしている。1 月 18 日に打ち合わせを行った。縮尺や文字の色、字体について検討した。避難所のことについても書き込むようにしている。AED の設置施設も地図に入れている。2 月末には 2 稿のチェックが終わり、3 月には印刷することになっている。18,200 世帯にすべて配布したいが、予算の関係もあるので 17,000 枚で 165 万円の計画である。
- (江澤委員) 民生委員として独居高齢者に対する訪問と見守りを実施した。土気地区の見守りネットワーク会議で協議を続けているが、地域組織としての見守りは実現していない。今後も協議していきたい。
- (大槻委員) 高齢者と障害者に配慮した避難所作りを進めている。公民館は高齢者と障害者のための避難所として考えている。また 2 箇所の施設にも声掛けし避難所として動いている。避難所の地図も作成したいが現在検討中である。見守り活動については一部の町内自治会なので 20% の達成率にした。今年度は新規で 2 つの町内自治会が立ち上がった。現在の誉田地区の町内自治会は 62% の加入率である。緑区地域振興課と協議を続けていた地域運営委員会が立ち上がった。
- (鴨委員) 千南会の活動報告をする。鎌取地区で情報交換をしている。たけのこ工房の家族の集まりが中心なので近くにある緑保健福祉センターを会場にして行っている。内容としては精神障害者の家族支援をしている。3 月末に広報誌第 6 号を発行する。毎月第 3 土曜日に家族会をしているが、ひきこもりの家族がかなりいる。2 月 8 日にハーモニープラザで千葉市の障がい者家族会主催で講演会をした。3 月 14 日に地域の偏見について家族がどう対処するかの講座を緑保健福祉センター 2 階で行う。
- (廣田委員) 身体障害者連合会は当事者の集まりである。日頃の生活を知ってもらうのを目標にしている。10 月に障がい者作品展、12 月には第 16 回千葉市大会があった。多くの参加があった。当事者が学校訪問して子ども達に障がい者の生活について聞いてもらう授業も行っている。1 月 28 日に私が越智小学校で 3 年生に話をした。視覚障害の歩行体験をした。皆熱心に実習していた。障がい者でひきこもっている方を外に連れ出したり、9 月にシダックス誉田クラブの協力でカラオケの交流会をした。しかし聴覚障害者が参加できなかった。今後皆が参加できる交流できる事業を考えていきたい。

- (石本委員) ときわ園での活動を報告する。今年の4月から生活困窮者自立支援法が施行され、働きにくい方への中間的就労が期待されている。これに該当する19歳の方から相談があった。1月に3日間職場体験してもらった。引き続き勤務したい意向を確認できたので対象者を支援しているNPOと協議していくことになっている。地域との交流で2月28日に土気中学校の吹奏楽部が来所される。3月中にセルフガーデンハウスのハンドベルが来所し利用者交流を予定している。幼稚園が来所する予定だったが、インフルエンザがはやったので次年度以降になった。
- (岡本委員) 高齢者と児童をともに見守れる環境作りを検討してきた。具体的には小谷小学校で認知症サポーター養成講座を行った。徘徊高齢者への声のかけ方を勉強してもらった。
- (烏山委員) 地域とのコミュニケーションの交流であるが、民生と自治会、社協が参加している。情報共有をしている。見守りについても考えていきたい。老人会やサロンの訪問にも力を入れている。老人会のパワーを感じた。サロンは来年度もまわりたい。認知症の方と家族の憩いの場としてオレンジカフェをオープンしたが、多い時は8名の参加があった。送迎がないので参加者が少ない。色々な工夫を考えて来年度も開催したい。
- (廣田委員) 大槻委員に質問したい。高齢者や障がい者に配慮した避難所作り、福祉避難所という感覚なのか。
- (大槻委員) 行政が最終的な判断をする。畳で布団があるところ第1条件にあげている。バリアフリー化した施設をお願いしている。食料の確保もお願いしている。
- (鴨委員) 障がい者はそれぞれの特性がある。1か所に集まれば良いというものでもない。精神障がいはコミュニケーションが下手であったり、毎日薬を飲まなければいけない。3.11では一回避難所に入った精神障がい者が自宅に帰ってしまった例もあるので、障がい者の特性を考えたものにしてほしい。

議題(3) 緑区地域福祉計画推進協議会 小委員会について

事務局より、小委員会について説明した。

主な発言内容は以下のとおり。

- (事務局) 資料3を見てほしい。今後3つの小委員会を設置したいと考えている。新しく障がい者関係の小委員会を新設したい。これまで高齢者や児童に焦点をあてた小委員会を実施してきたが、今回は障がい者のことを勉強して、障がい者のために何かできることを探っていこうと思う。今後も参加したい小委員会があれば申し出てほしい。また推進協委員ではなくともに広く参加したい方を募っているのでそのような方がいれば事務局まで紹介してほしい。

議題（４）「みどりのきずな」第25号の承認について

中村和委員より、みどりのきずなについて説明した。

主な発言内容は以下のとおり。

（中村和委員）今月末までに修正箇所があれば事務局まで報告してほしい。最終構成して3月下旬頃に発行する。

その他

（事務局）福祉カレンダーの件だが、まだ地区部会や自治会等の総会が終わってないのであくまで予定でカレンダーを作成した。行事への訪問等を予定している場合は、事務局までご連絡いただきたい。

委員長が閉会を宣し、第5回緑区地域福祉計画推進協議会は散会。